

海の道むなかた館企画展示

平成24年6月1日
宗像市郷土文化学習交流課

1. テーマ

「古代の祈り」

2. 目的

平成22年度に実施した大島御嶽山遺跡の発掘調査では、山頂を中心に沖ノ島祭祀時期区分の半露天から露天祭祀期の多量の祭祀遺物が出土した。遺物は沖ノ島祭祀遺跡の1号遺跡と5号遺跡と同様のものであり、沖ノ島祭祀遺跡との密接な関係性があることが判明した。大島御嶽山遺跡は沖ノ島祭祀遺跡と並んで神道成立期の祭祀状況が分かる重要な遺跡である。

現在、宗像市は大島御嶽山遺跡の重要性を受け、国史跡への指定に向けての作業を進めている。平成23年度には発掘調査報告書を刊行し、平成24年度は出土品の宗像大社への譲与をおこなうため、目録作成作業を進めている。今後、国史跡への指定及び世界遺産登録に向け啓発活動を通して、遺跡について市民への周知を進めていかなければならない。

そこで、祈りをテーマに企画展示を実施する。先人たちが神々へ捧げた数多くの祭祀品を通して、日本と大陸とを結ぶ、本館のオープニングテーマである「海の道」に対する古代の人々の思いが来館者に伝わる展示をおこなう。また、沖ノ島祭祀遺跡との類似性を展示解説し、沖ノ島祭祀遺物の展示が行われている神宝館への来館も促すことで、海の道むなかた館と宗像大社神宝館との連携を図るものとする。

3. 展示品

大島御嶽山遺跡出土祭祀品 約100点
(奈良三彩・八稜鏡・滑石製形代・金属製品・祭祀土器)

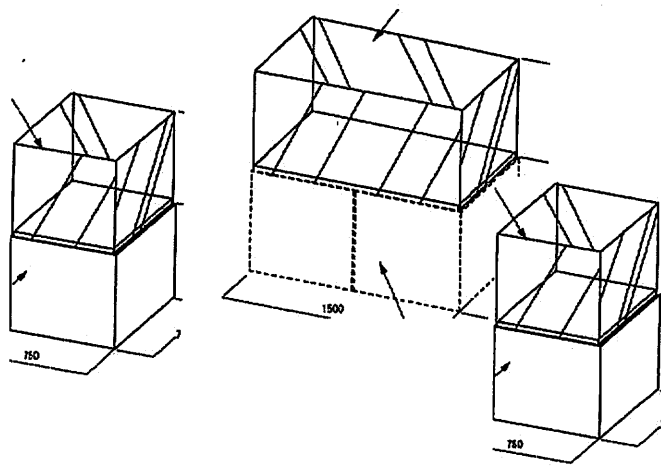
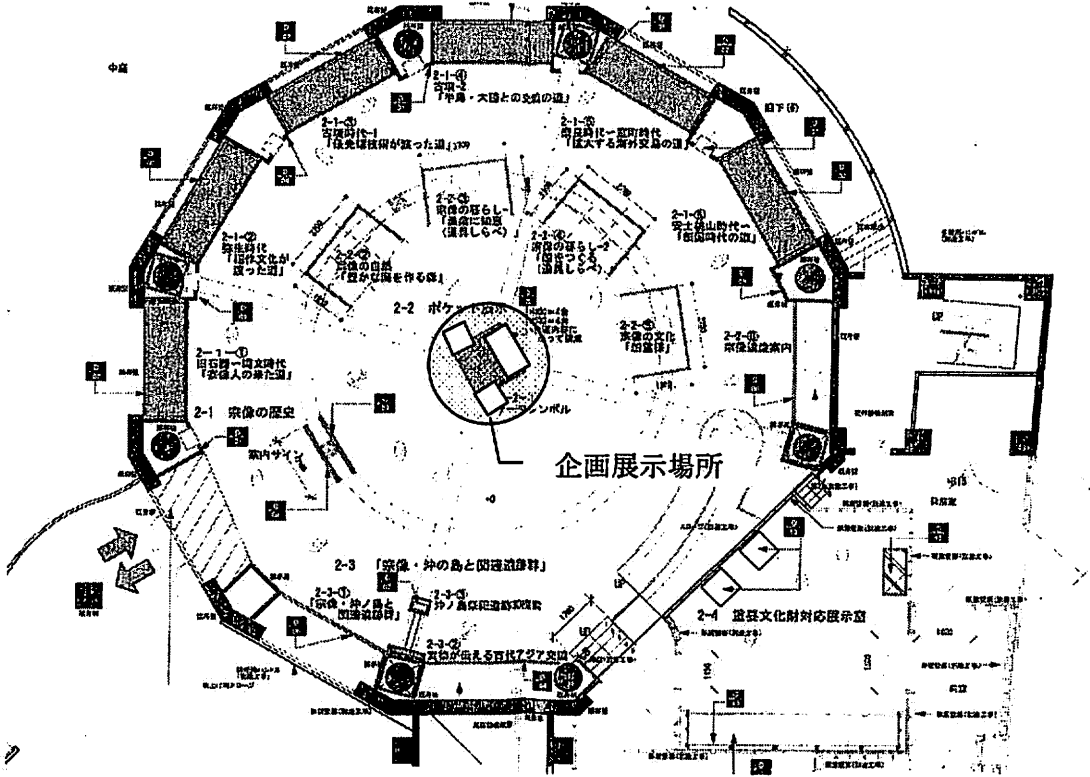
4. 展示期間

平成24年6月19日(火)～平成24年9月23日(日)

5. その他

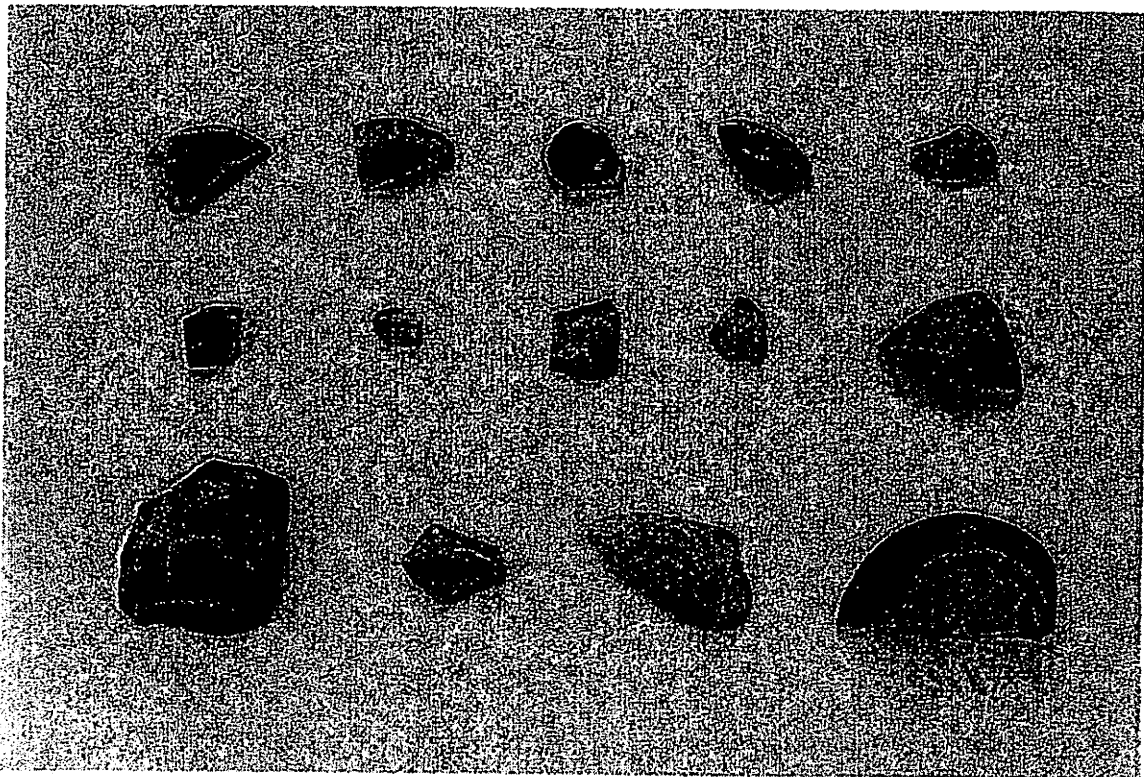
館エントランスホールから御嶽山山頂が目視できることから、山頂からの眺望写真や関連説明をエントランスホール北側のガラス壁面に掲示する。

5. 企画展示配置図





大島御嶽山遺跡出土滑石製形代



大島御嶽山遺跡出土奈良三彩